

令和7年度使用中学校用教科用図書の採択結果等について

採択地区名	三次市教育委員会
-------	----------

種目	発行者	採 択 理 由
国語	東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「情報と論理の学び」の前後に「読むこと」と「話すこと・聞くこと」, 「読むこと」と「書くこと」の教材を, 学びが続くように総合単元として掲載している。また, 「情報」についてのページ数も他者と比較して多く, 学習ポイントもあり, 全学年に, この単元が設定されている。</li> <li>○自分の考えを形成する活動の工夫として, 「テーマの例」「提案を出し合った例」「提案を整理した例」「話し合いの例」と多くの例を扱い, 「言葉の力」として学習ポイントがある。</li> <li>○説明的文章の後に, 二次元コードと対応した「言葉の力」で文章と図表との関連が書かれている。また, 記述と図表との関連が意識された図表が選ばれている。</li> <li>○単元ごとに, 「見通す」から「振り返る」までの学習の流れを分かりやすく示してあり, 学習者が見通しながら主体的に学ぶことができる。</li> <li>○途中で配置されている「たすけ」を使いながら, 自ら学ぶことができる工夫がある。また, 教材のはじめのページにある目標が, 生徒の言葉で問いかけられてあり, 主体的な学びにつながる。</li> <li>○各学年の最後に「未来への扉」という単元を設定し, 1年間の総まとめとして, これまで身につけた「言葉の力」を活かして, 未来について考えてみよう, 複数の文章を読み, 自分の考えを持とうという単元が設定されており, 主体的な学びを促すことにつながる。</li> </ul>
書写	光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大きく, 分かりやすい写真で姿勢, 執筆法, 用具の扱いについて紹介している。また, 左利きの生徒へ配慮した写真があり, 個別最適な学びが意識されている。</li> <li>○原寸大の手本があり, 見開き2ページで学習の進め方を示してあり, 理解しやすい。</li> <li>○朱墨と薄墨, 「トン・スー・トン」の擬態語, 数字での筆使いや力具合の説明, 動画など, 指導の際に活用しやすい工夫がある。</li> <li>○平仮名の結びの書き方が丁寧に説明されており, 技能習得につながる。</li> <li>○別冊「書写ブック」や, コラムが生活とつながり, 興味を惹く内容となっている。</li> <li>○「①考えよう」「②確かめよう」「③生かそう」の学習構成になっており, まず考えることから始まる特徴がある。また, 学びのカギや動画もついている。</li> </ul>
社会 (地理的分野)	帝国	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中四国の主な高速道路の図に, 三次が示されている。</li> <li>○「地理プラス+」・「共生」・「環境」・「防災」・「解説」の記載があり, 国際社会で主体的に生きていくための基礎となる知識及び技能について目立たせた表示となっている。</li> <li>○単元の導入の「探してみよう!」では, イラスト・地図・写真が記載されており, 興味関心を高め, 主体的に学習に取り組みせようとする工夫が見られる。</li> <li>○自然災害への備えと特設ページにハザードマップの読み取り方や防災情報の入手の仕方についての記載があり, 課題設定や情報収集の活動が行いやすい。</li> <li>○地図帳活用の表記があり, 生徒が地図帳を活用するための工夫が見られる。</li> </ul>
社会 (歴史的分野)	日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の冒頭では, 4ページにわたり丁寧に解説され, 絵図, 二次元コード, 人物のイラストを用いた年表, 写真, 地図, キャラクターの問いにより, 資料を読み取ったり, 話し合い活動や予想を書いたりするなど学習課題発見・解決に導くよう構成されている。</li> <li>○二次元コードや年表を多く扱っており, ICTの活用促進や, 個別最適な学びにつなげやすい。</li> <li>○各単元の導入に, 同時代の世界の様子を掲載する等の工夫が見られ, ページ数も多く, 幅広い視点で学習することにつながる。</li> </ul>

種 目	発 行 者	採 択 理 由
社会 (公民的分野)	帝国	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題を解決していく活動を通じて、対立と合意・効率と公正について考えられるようになっていく。</li> <li>○見方・考え方を働かせるための工夫例として、最終章を取り上げると、「持続可能な社会の形成に向けて解決すべき課題」を提示し、資料や絵図から考察、構想、論述するようになっており、生徒が広く、深く学ぶことにつながる。</li> <li>○「自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう」と学習課題が示され、3段階の取組を通して、考察していく設定があり、社会参画への意識を高める工夫が見られる。</li> <li>○小学校で学んだ内容をもとに、地理的分野と歴史的分野で学んだことを生かしながら公民的分野の学習を進めるための工夫が見られる。</li> </ul>
地図	帝国	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「小学校で学習した地図の約束を振り返ろう」というコーナーが設けられ、小学校の学習との接続が図られている。</li> <li>○ページ全体に関わる主題を示す「主題学習」のコーナーを設けている。</li> <li>○「地図で発見！」のコーナーを設け、学習を深める問いを記載しており、「三次盆地」の位置と日本海沿岸や瀬戸内地域との結びつきを交通に着目して考えさせる問いがある。</li> <li>○中四国地方のページは10ページ設けている。</li> </ul>
数学	東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1次方程式の学習では、「重さ」や「代金」「人数」などの具体を扱っている上、その解決方法として、「表」をもとに具体的な値を代入する方法を扱っており、概念的な理解を促すことにつながる。</li> <li>○「見通しを立てる」「問題を解決する」「振り返る」などの学びのプロセスに沿って、「説明する」「話し合う」場面を仕組む工夫が見られる。</li> <li>○導入を踏まえて、1節で本棚の立体の1面を扱い、2節でも正方形の別の数え方を扱い、3節ではさらに立体にして考えさせる工夫をして、系統的にスパイラルな学習を仕組んでいる。</li> <li>○大切にしたい見方・考え方を四角囲みの図で表して強調するなど、数量の間の関係に着目して方程式をつくることの大切さを説いている。</li> <li>○「深い学び」のページや、現学年及び前学年までのまとめを設けており、自分自身で発見させる工夫や個別最適な学びにつながる工夫が見られる。</li> <li>○多くのデジタルコンテンツを取り扱っており、個別最適な学習を展開しやすい。</li> </ul>
理科	教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○章の中に関連する既習事項「思い出そう」が配置してあり、その都度既習を踏まえた学習構成になっているとともに、小学校の算数で学習した内容や、他教科とのつながりが示されている。</li> <li>○1つの観察実験に使われているスペースとして、見開き2ページに写真やイラストが大きく掲載してある。</li> <li>○導入から課題設定さらに観察・実験までの生徒の思考の流れを無理なく構成している。</li> <li>○観察・実験を計画し、結果を分析して解釈する学習活動について、生徒起点で構成されている。</li> <li>○会話の掛け合いが自然で、生徒の話し合いを促進する工夫がみられる。</li> <li>○大きな図やイラスト、吹き出しを使って具体例を示しており、イメージがしやすい内容となっている。</li> <li>○デジタルコンテンツについて、使いやすさや内容数、種類の多さにおいて優れている。</li> </ul>

種 目	発 行 者	採 択 理 由
音楽 (一般)	教芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○息の流れや声の響かせ方が説明され、真似がしやすいイラストで紹介されている。</li> <li>○楽譜が1ページにまとめられており、全体像が把握しやすい。</li> <li>○各標題がアルファベットで示され、曲の流れが確認しやすい。</li> <li>○「中学生の音楽」の学習内容のページに領域・分野ごとに学習の流れが示され、さらに育成を目指す資質・能力の3つの観点も示されている。また、教材名の下に教材の紹介と活動のポイントが示され、縦書きの学習目標と同じ色の枠で囲まれており、生徒にとって分かりやすく、主体的な学びにつながる。</li> <li>○見開き2ページに活動の手順とワークシートを掲載しており、活用しやすい。</li> <li>○人物イラストの吹き出しからヒントが示されるという工夫がなされている。</li> <li>○ページ右下に二次元コードがあり、デジタルコンテンツとして創作ツールがあり、伴奏とワークシートに音を載せていく活動ができるようになっているなどの工夫が見られる。</li> <li>○学習目標の下の部分に、音楽を形づくっている要素が一目でわかるように工夫がされている。</li> <li>○親子3代の歌舞伎役者の写真とその記事が掲載され、次のページには民族衣装をまわって踊る人々の写真が記載されており、それぞれの文化を比較することができるようになっている。</li> <li>○デジタルコンテンツについては、女声、男声別の映像があったり、伴奏など速度を5または6段階で調整して流すこともできたりと、個に合わせた学習をすることができる工夫が見られる。</li> </ul>
音楽 (器楽合奏)	教芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標達成のための支援として、アーティキュレーションの4つの奏法の楽譜と説明があり、デジタルコンテンツによる音源の違いを確認することができるように工夫している。</li> <li>○学びのコンパスが記載されていたり、デジタルコンテンツを開くと、ワークシートがあったりと、協働的な学びの中で学習目標に迫る支援がなされている。</li> <li>○「My Melody」では、課題や条件に沿って箏の旋律を創作する内容が示され、音楽を形づくっている要素の旋律、リズム、構成を用い、音楽表現を創意工夫する学習内容となっている。</li> <li>○デジタルコンテンツで実際に演奏されている動画を見ることができるようになっている。</li> <li>○箏の基本的な奏法やかき爪、割り爪といったいろいろな奏法もデジタルコンテンツで確認できるようになっている。</li> <li>○リコーダーの楽曲14曲、箏6曲、三味線1曲と曲数が多く、選択の幅がある。</li> <li>○アルトリコーダーとソプラノリコーダーの楽譜がセットで掲載され、デジタルコンテンツで簡単に速度の段階を変えて伴奏できるようになっており、個別最適な学習につながる。</li> <li>○すべてのページにデジタルコンテンツが用意され、全曲伴奏が流れるようになっていたり、個別に練習できるように、速度が変えられたり、演奏の姿勢や構え方など、映像で確認することができよう工夫が見られる。</li> </ul>
美術	光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1学年の別冊として「美術1 資料」があり、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。</li> <li>○鑑賞の問いかけと右ページの発想・構想、そして実際に作る手順の結びつきがわかりやすく書かれている。</li> <li>○「美術1 資料」の発想・構想の手立てとしてマッピングやピラミッドチャート等の思考ツールが例示されており、言語活動を喚起する示し方となっている。</li> <li>○「みんなの工夫」というコーナーがあり、取材から構想、作品の完成そして展示までの流れでポスターづくりを取り扱っており、生徒の表現への意欲を喚起する内容となっている。</li> <li>○生徒作品が多く示されている上、「美術1 資料」に掲載されている二次元コードの関連ページも示され、内容が極めて豊富である。</li> <li>○音声ナビ、一点透視図法の書き込みができるツール、解説動画、広角写真、他の作家が描いた「最後の晚餐」、鑑賞を広げる言葉集と、多様に示されており、様々な視点から作品を捉えることができる。</li> </ul>

種 目	発 行 者	採 択 理 由
保健体育	学研	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健体育科に関わる「ひとものこと」,「保健体育と情報」が示され,「学びたいこと 学んだこと」を書き込むフリースペースがある。</li> <li>○「ウォームアップ」として,生徒にとって身近な事柄に関する問いが導入としてあり,さらに,学習課題を【わかる】【考える】で示し,1時間で身に付けるべき知識および技能が分かるように工夫されている。</li> <li>○「エクササイズ」として,具体的な場面がイメージできるような課題提示をする等,考えをもちやすい,交流しやすい工夫が見られる。</li> <li>○授業の終わりで,生徒にとって身近な場面における事例が提示されており,学習を通して習得した知識技能を活用し,深く考えたり,話し合ったりする学習活動が設定されている。</li> <li>○デジタルコンテンツに掲載するだけでなく,教科書,章末のページに「まとめの問題」を掲載しており,学習内容の定着を図ることができるようにしている。</li> <li>○1年間のまとめや振り返りを行うページを設けている。</li> <li>○資料を示すだけでなく,「探究しようよ」で発展的な学習内容を示し,資料をもとに課題を見つけて取り組む活動を設定している。</li> <li>○巻末の資料に,新体力テストの進め方の動画が示されている。</li> </ul>
技術・家庭 (技術分野)	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ガイダンス「技術の見方・考え方」において,身近な製品のノック式ボールペンについて取り上げ,願いや要求と科学の考えから,技術のしくみによって最適化されていることに気付かせる工夫が見られる。</li> <li>○各内容の冒頭「製品の進歩」において,具体例を取り上げるとともに,技術に込められた工夫や技術を最適化する際に着目する視点について掲載している。</li> <li>○内容A～内容Dの2において,生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだし,課題を設定して解決策を構想し,製作図などに表現して試行錯誤しながら具体化し,実践を評価・改善させるためのイラストやつぶやき等を掲載している。</li> <li>○各内容とも,項目ごとに「学習の目標」の囲みと「学習課題」「QRコード」のマークを設け,関連する語句を示している。</li> <li>○多くの実践的・体験的な学習の具体例を掲載していることで,生徒が主体的に実践することにつながる。</li> <li>○中学校の各教科等の学習内容との関連については,「他教科」マークを用いて,教科,内容等を示している。</li> </ul>
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○危険が予測される場面を示すなど学習者起点で考えさせる工夫があり,基礎的・基本的な知識及び技能の習得につながる。</li> <li>○実践例では,加工食品の活用を取り上げ,調理例を示しているのが特徴的である。</li> <li>○生徒の身近な話題を用いて「学習する内容」について示しており,興味・関心を高めることにつながる。</li> <li>○「生活の営みに係る見方・考え方」の1つの視点である「持続可能な社会の構築」では,「ガイダンス」で詳しく説明され,各編にその内容を掲載している。</li> <li>○資料や動画につながる二次元コードを表示しており,国のデータなどの根拠に基づいて,考えさせるものが多くある。</li> </ul>

種 目	発 行 者	採 択 理 由
英語	光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「聞くこと」の目標, 「話すこと」の目標というように, 領域ごとの目標が提示されている。</li> <li>○例文を参考にイメージをもたせ, さらに表現を広げられるように, マッピングの手法を活用している。</li> <li>○ページの最初に, 「目的・場面・状況」を表記することで, 学習者が見通しと目的意識をもち, 場面や状況に合う表現を主体的に考えながら統合的な学習に向かうことができる。</li> <li>○単元で習った表現を使ってまとまりのある文章を書いた後, 活動の下に示されている「ゴール」部分で振り返る内容はそのまま巻末のCAN-DOリストのページにつながるよう構成されている。</li> <li>○本文にもリスニングのマークが付いている。</li> <li>○「その場でスピーキングLet's Talk!」には, いろいろな角度から自分自身について語れる表現をストックしていく工夫がなされている。</li> <li>○実写動画があり, 実際のやり取りを見ることで, その場面に使われる英語の意味を推察することができる。</li> </ul>
道徳	日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ミニ教材を用いて学習の流れを詳しく解説している。</li> <li>○発問数が多く, 深い学びにつながる。</li> <li>○巻頭において話し合いのポイントや工夫例が具体的に示され, 教材文のページや「ユニット」の中に, 話し合う活動を設定している。</li> <li>○1時間ごとの授業の記録を残す別冊の「道徳ノート」があり, 学びの軌跡を辿ることができる。</li> <li>○別冊「道徳ノート」には「フリーノート」「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」などが設けられている。</li> <li>○デジタルコンテンツが全ての教材に用意しており, 音声やワークシートなどが充実している。</li> </ul>